

平成17年度伯耆町全会計予算額一覧

単位：千円

Table with 5 columns: 会計名, 旧両町H16当初予算合計額, 伯耆町H17当初予算額, 差引. Rows include 一般会計, 特別会計, 合計.

(公営企業分)

単位：千円

Table with 5 columns: 会計名, 旧両町H16当初予算合計額, 伯耆町H17当初予算額, 差引. Rows include 水道事業会計, 索道事業会計, 合計, 総合計.

予算の用語説明

- 【一般会計】町が行う基本的な施策をまかなう予算
【特別会計】一般会計とは別に、特定の事業を行うための予算
【歳入】町に入ってくるお金
【歳出】町から支払われるお金
【町固有財源】町が独自に確保できる財源
【国県依存財源】国・県からの支出金など、町固有財源以外の財源
【地方交付税】国税のうち、所得税、法人税、消費税などから一定の割合の額が、一定基準により交付されるお金
【町債】事業を行うために借り入れたお金
【町税】町民の皆様から納めていただく税金や法人町民税等
【繰入金】各種基金などから一般会計へ繰り入れたお金
【国庫支出金】事業を行うための国からの補助金等
【県支出金】事業を行うための県からの補助金等
【公債費】町債(事業を行うために借り入れたお金)を返済するためのお金
【農林水産業費】農業の振興事業等を行うためのお金
【民生費】町民の皆様が、一定水準の生活と安定した社会生活を送ることを保障するために必要なお金
【総務費】全般的な管理事務に必要なお金
【土木費】土木共通事務等に必要なお金で、主に維持・改良的なもの
【衛生費】町民の皆様が健康で衛生的な生活環境を保持するために必要なお金
【消防費】消防活動等に必要なお金
【議会費】議会の活動に必要なお金
【商工費】商工振興、観光振興等に必要なお金
【教育費】学校教育、社会教育等に必要なお金

平成17年度

当初予算が決まりました

重点政策

- 1. 地方分権への対応
2. 新町まちづくり計画の着実な推進
3. 継続建設事業等の社会資本の整備拡張

主な施策

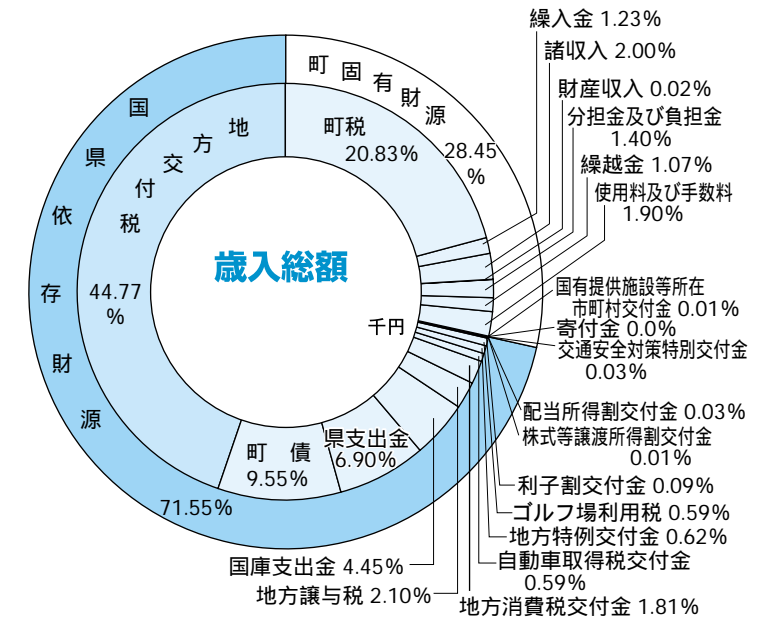
- 住民参画と協働への体制整備
行政等の情報化及び情報公開の推進
健康の増進と福祉施策の充実
環境対策の推進
産業の振興
道路整備の推進
防災体制の整備
教育環境の整備
国・県営事業の推進

一般会計の予算は65億6800万円

国内景気は製造業を中心に改善傾向を見せたものの、依然として地域経済や中小企業の足元での景況感は引き続き厳しい状況が続くなか、平成17年度の当初予算が決定しました。
新町まちづくりの基礎となる一般会計予算は、65億6800万円で、前年度当初予算(旧両町合計額)に比べて12億9867万4千円減、率にして16.5%の減少となりました。

歳入

歳入は、町が独自に確保できる町固有財源(町税、分担金、使用料など)と国や県により定められた額を交付されたり割り当てられたりする国県依存財源(地方交付税、国庫支出金、町債など)に分かれています。
町固有財源は、全体の28.45%を占めています。その中の町税は、863万5千円増の13億6815万2千円を見込んでいます。
次に、国県依存財源のうち地方交付税は、国の三位一体の改革により非常に厳しい状況にありますが、29億4047万3千円と全体の44.77%を占めています。



歳出

一般会計歳出予算の主なものでは、高齢化率27%を超える高齢社会である伯耆町で、保健・福祉施策の充実を図るため、民生費の14億153万1千円が全体の21.34%を占めました。
次に、公債費が13億7812万3千円と、全体の20.98%を占めています。この公債費は、これまで様々な事業を行うために借り入れたお金の返済金です。
また、総務費が8億8483万1千円と、全体の13.47%を占めています。
一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、114億6743万4千円で、前年度当初予算額(旧両町合計額)135億7069万8千円に比べ、21億326万4千円、率にして15.5%の減少となりました。

